

行きたい学校

帰りたい家庭

住みたい地域

ふくつの／みんなで盛り上げよう！

コミュニティ・スクール



平成23年6月から市内の小中学校全てがコミュニティ・スクールとしてスタート！

福津市の
コミュニティ・
スクールは今！学校・家庭・地域が「連携」「共働」
して教育効果を高めます。

小・中のコミュニティ・スクールでは、学校・家庭・地域がそれぞれの役割を担い、共働しながら相互に責任を果たす共働・責任分担方式を進めています。主に、学校では確かな学力を、家庭では基本的な生活習慣を基盤とする生活力を、地域では社会的なマナーや礼儀、さまざまな立場の人たちと関わり合うとする社会力を育んでいきます。目指す子どもを育成するに当たり、学校・家庭・地域が「連携」「共働」して取り組みを進めることが効果的なものについては、学校運営協議会で協議し、サポート組織がさまざまな事業を企画・展開しています。

【図2】は、神興東小学校の例です。学校と家庭、学校と地域、家庭と地域、それぞれの連携として「そだち」「ひろば」「まもり」の3つのプロジェクトを実施しています。

さらに、学校・家庭・地域三者の共働事業として、子どもから大人まで地域ぐるみで取り組む運動会や文化祭を行っているのが特徴です。

★「コミュニティ・スクール」とは

コミュニティ・スクールは、学校と保護者と地域の皆さんが共に知恵を出し合い、一緒に共働しながら子どもたちの豊かな成長を支えていく「地域とともにある学校づくり」を進める仕組みです。

学校と保護者と地域の皆さんが目標を共有し、一体となって地域の子どもたちを育んでいくことは、子どもの豊かな育ちを確保し、そこに関わる大人たちも成長できます。コミュニティ・スクールの導入は、地域の絆を強め、地域づくりの担い手を育てていくことにもつながります。

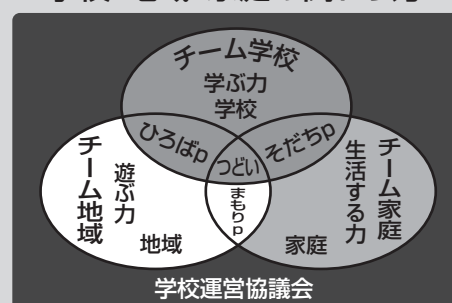
★「コミュニティ・スクールの数は

平成23年4月現在、全国で789校園が指定されています。平成17年では、わずか17校しかありませんでしたが、6年間で772校も増え全国的な広がりを見せています。福岡県は現在40校あります。

学校種ごとの
指定状況

幼稚園	42園
小学校	539校
中学校	199校
高等学校	4校
特別支援学校	5校
合計	789校

学校・地域・家庭の関わり方



【図2】神興東小学校の取り組み

「けやきつ子事業」
（学校）学習支援ボランティア
（家庭）子どもインターンシップ
（地域）ゆめ空間づくり

「コミュニティ・スクール
3プロジェクト」
（そだち）連絡帳、早寝・早起
き・朝ごはん運動
など

（ひろば）放課後教室、おや
じの会など

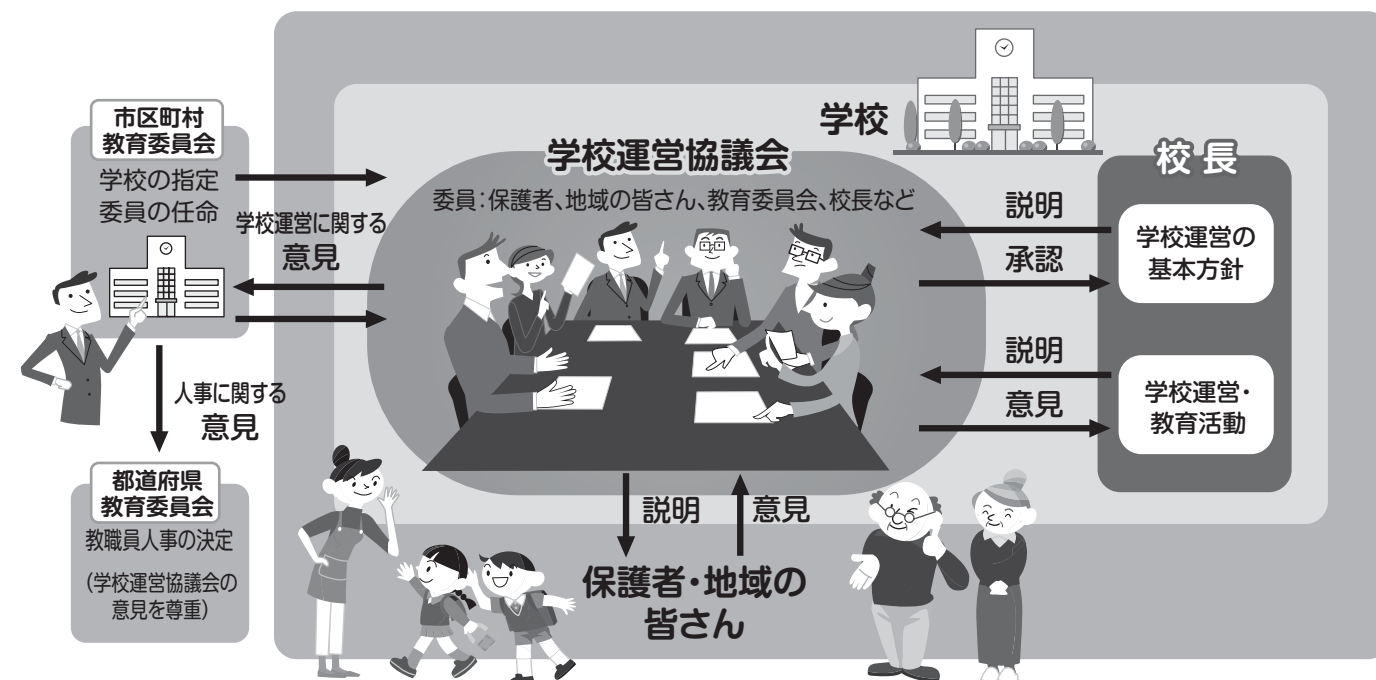
（まもり）挨拶運動、安全教
室、防災教育など

「つどい実行委員会」共働事業
・けやきつ子運動会
・虹の架け橋じんと祭

コミュニティ・
スクールの
仕組み

コミュニティ・スクールには、「学校運営協議会」が設置され、一定の権限と責任をもって、学校運営の基本方針を承認したり、教育活動について意見を述べたりすることを通じて、学校のさまざまな課題解決に参画していきます。「学校運営協議会」は、校長、教職員、保護者や地域の皆さん、有識者などで組織しています。

..... コミュニティ・スクールのイメージ



▲中学校の教諭による体育の出前事業

中学校ブロックで「小中連携」を
すすめて教育効果を高めます。

コミュニティ・スクールの全校実施による「横に広がる教育」の推進に加え、小・中学校間の円滑な接続による「縦につながる教育」を推進するために、3つの中学校ブロックごとに中学校ブロック推進協議会を設置し、小中の連携を行っています。具体的には、「学びの手引き」の作成、「心の教育」「体力向上」等のプラン作成、中学校の先生による出前授業、文化祭への参加、生徒指導・特別支援教育の情報交換などを行っています。

◆次ページから中学校の取り組みを紹介しします。



▲郷育カレッジ講師による【水の学習】

住みたい地域

帰りたい家庭

行きたい学校

福間中学校

平成23年6月に学校運営協議会が設置され、コミュニティ・スクールが本格的にスタートしました。『行きたい学校』『帰りたい家庭』『住みたい地域』をスローガンに、「ひと」や「もの」との出会い・触れ合いを重視した体験活動を行い、ほんものに触れ、感性を磨き、社会性と実践力を身に付けた「福間中学校区の地域人」となるような取り組みを進めています。

教師デリバリー授業

本年度は、中学校の美術科・体育科の教師2人を校区内の小学校に派遣しました。これからも小学校からの要請に応じ、随時本校教職員を派遣していきます。また、新入生説明会では、中学校の部活動の見学・体験を実施しました。

日本文化交流事業

4月にスコットランド・バグパイプ楽団が来校しました。本校の1年生と一緒に演奏や書道、給食などを体験しました。地域の大学生もボランティアとして参加しました。



▲バグパイプバンドとの交流の1コマ

総合型地域スポーツクラブ による部活動サポート

福津市を拠点に活躍している「福津ドリームスポーツネットワーク」からトレーナーを派遣してもらい、運動部活動のコンディショニングサポートや、けがをしている生徒に対して、テーピングを行ってもらいました。

「コミュニティ文化祭の 取り組み

昨年度に引き続き、2学期の初日からの1週間を「文化週間」と位置付け、さまざまな日替わりイベントに取り組みしました。「秀岳館高校の雅太鼓の演奏」「花いっぱい日のスタードームづくり」「タイのアレンジ弁当に挑戦!」「福間中卒業生の増井ココロさんのライブ」などのプログラムがあり、どれも「充実感」や「達成感」を味わい、「感動」するものでした。また、生徒会の努力で「生徒会歌」が復活し、エンディングで地域在住の卒業生と共に合唱しました。



▲文化週間でスタードーム作り

子育てサロンとの共働による「保育授業」

地域の子育てサロン「ポレポレ」に、中学3年生が家庭科の保育学習で参加しました。小さい子を思いやる気持ちや乳幼児に積極的に関わろうとする気持ちを養いました。

宿泊体験学習に「地域力」を活用

昨年、学校運営協議会準備委員と

して招き、特別授業「働くって何だろう?」を実施しました。

また、2・3年生対象の社会科の選択授業では、市在住の川崎オーンスーさん(タイ)とマックテイアー・トラビスさん(カナダ)を講師に招き、海外の文化について授業をしていただきました。



▲G Tによる講座「働くって何だろう?」

食育「弁当の日」の取組

家庭科の授業を生かすと共に「食」に対する意識の向上を目指して、「弁当の日」に取り組みしました。職員研修で「弁当の日」を実践している宇美中学校の先生を講師に招き、その取り組みの効用を学びました。

P T A 地域集会でテーマを「食から考えるコミュニケーション」として地域と保護者と教師が一体となっ



▲食育 地域の人とお弁当づくり

花いっぱい運動

毎年11月に花見区シニアクラブにご協力いただき、「花いっぱい運動」を実施しています。



▲オードブルでおもてなし

今年はシニアクラブのかたに感謝の気持ちを込めて、3年生の生徒自身が作るおかず1品を持ち寄り、昼食として振る舞いました。シニアクラブのかたがたに喜んでいただこうと、自分たちでメニューや盛り付けを考えました。

小・中3校合同学校運営協議会でのワールド・カフェ

コミュニティ・スクールの推進には、福間中学校区の小・中学校のそれぞれの学校運営協議会の、連携した取り組みや情報の共有が大切です。そのために、3校合同の学校運営協議会をワールド・カフェ形式で開催し、お互いの思いを語り合い、共働の思いでの活動の在り方を模索していきま



▲小・中3校合同の学校運営協議会

地域のG T(ゲスト・ティーチャー)による授業



▲宿泊体験学習でスタードーム作り

2年生の進路学習の一環として、地域在住の様々な「職業人」をG Tと



▲講座オリエンテーションの様子

EJCのEにはエンジョイ(enjoy)、Jはジョイフル(joyful)や市の郷育カレッジとのジョインアス(join us 一緒にやろう)の意味も込めています。

〈チーム福岡東〉は【SHISHUNKI】サポーター。子ども達の夢の力を応援します。

福間東中学校

平成23年6月の学校運営協議会設置により、正式にコミュニティスクールがスタートしました。CS 福岡東は、学校、家庭、地域が連携・支援し合って、相互に教育力を向上させ、【効果のある学校】(学ぶ喜びを味わわせ、格差を克服する学校)、【元気の出る学校】(生きる喜び、働く喜びを味わわせ、安心・自信の雰囲気になった学校)、【協働の子育て】(目指す市民像に向かって、多くの大人が子どもに関わる学校)を追求する取り組みを推進しています。

夢の力応援プロジェクト

学年連携コーディネーターによる学習サポート

学習規律を整え、学びあう雰囲気になった学習環境のために、「学年連携コーディネーター」の職員が、TT(ティームティーチング)の形で教室に入り、教科担当の教員とともに学習指導を行っています。

大学生による補充学習支援「寺子屋ひがし」の継続

基礎・基本の力を身に付けさせるとともに、「分かった」「できた」という実感を持たせたいと、マンツ



▲寺子屋ひがしで補充学習

ーマンに近い人数で指導を行っています。福岡教育大学数学研究室との連携で、主として定期テスト前に学習会を行っています。

大学院インターンシップ実習や特別支援アセスメント実習の実施

福岡教育大学との連携で、教職大学院の学生の実習を行っています。生徒の学習の特性やより良い学習環境、特別支援を要する生徒への支援の在り方などを校内研修としても取り組み、生徒へ還元しています。

SHISHUNKIサポータープロジェクト

SST(ソーシャル・スキル・トレーニング)の継続的实施

本校のSSTでは、①望ましい人間関係の形成 ②健全な生活態度の育成を目指しています。行事に向けた取り組みや学校行事と関連づけて、ロールプレイングや体験発表を取り入れた話し合い、自己表現力やコミュニケーション能力を高める体験的な活動などを行っています。



▲「ガンバレ福岡東」のエール

食育を考える「おむすび給食会」の実施

ふれあい広場の福津産のお米を使って、保護者と一緒に「おむすび」を作って、食事について考えました。



▲班に分かれておむすび作り

親子ふれあい活動「草取りボランティア」の実施

たくさんの方の保護者と部活動を中心



▲2人組になったのトレーニング

地域の教育力との連携によるEJC(ひがし中カレッジ)の実施

市郷育推進課の協力で、地域のかたがたをゲストティーチャーに迎えて、3年生6講座(①福祉、②福津市のまちづくり、③西郷川をよりよくする、④合唱、⑤軽運動、⑥おはなし会実践)、2年生7講座(①新しい自分発見(演劇)、②土器をつくる、③福津市や自分の未来を語る、④やさしいエコ、⑤ダンス、⑥トレーニング、⑦竹細工)を開設することができました。

これらの講座は、生徒が社会的な知識、社会との接し方や社会生活のルールを学ぶことを通して規範意識を醸成し、将来設計を考える契機にすることを目指します。

人権教育講演会・成人講座の実施

昨年引き続き「二人芝居」の福永宅司さんをお招きしました。生徒、保護者、教師が、「人権」や「いのち」「なかま」について共に考える機会となりました。

シルバーのかたとの「地域環境整備」活動の実施

東福岡駅前の公園の清掃活動や西郷川横の花壇の花植えなどを、地域のかたに指導してもらいながら行いました。

アダプトプログラムの実施

本校生徒会と市うみがめ課との合意書の取り交わしにより、久末ダム周辺の環境整備を各学年、年2回ずつ行っています。

子育てサロン「うぐいす」を月1回開催しています。



▲乗馬を楽しむ生徒

体験活動ブース開設

むなかた乗馬クラブによる乗馬体験、玄界高校ホッケー部監督と高校生指導の下でのホッケー体験、地域有志のかたの指導の下での塩づくり体験、子ども会育成会の皆さんによるジュニアリーダー活動など、生徒たちが日頃できない体験を楽しみました。

地域人材を活用した研究発表会

地域または近隣の職場などで活躍されるかたがたをゲストティーチャーとしてお招きし、授業を公開しました。

学年・教科	地域人材指導者	授業内容
1年生 理科	福岡教育大学教授および学生	身の回りの現象(光、音、力で見る社会)
2年生 社会	情報処理技術者(保護者)	生活を豊かにするコンピュータ
2年生 美術	人形工房人形職人	モマ宙
3年生 社会	コンビニ店長	私たちの生活と経済
3年生 数学	福岡教育大学学生	関数
3年生 保健	助産院院長	健康な生活と病気の予防
3年生 保健	高校教諭	球技 ゴール型ホッケー
特別支援学級	JAR職員	米粉パン作り体験



今後に向けて

津屋崎中学校は、コミュニティ・スクールとして活動の方向性が整いました。

しかし、コミュニティ・スクールとして、学校の教育活動をコミュニティ・スクール広報などでお知らせしているものの、まだまだその浸透の度合いは低いようです。これから、地域の拠点にコミュニティ・スクール広報のコーナーを設けたり、ホームページを通じて発信をしたりしていきます。

また、郷づくりや郷育カレッジの講師に協力をお願いして、誰もが気軽に入って来ることが出来る中学校として環境を整え、地域の皆さんをお迎えできる学校になるよう努力を続けていきます。

地域・保護者の皆さま、ぜひ津屋崎中学校にお越しになり、ご示唆をいただくとともに、将来の福津を担う子どもたちに声を掛けていただきますようお願いいたします。また、スクールサポーターとして、教育活動を支援してくれるかたも募集しています。

今後は、これまでの経験を日常の教育活動にさらに生かすために、広く深く地域と連携を取り合いながら、内容を充実していきます。

志をもって学び、豊かな心を持ち、たくましく生きる生徒の育成

津屋崎中学校

平成23年6月、コミュニティ・スクールとしてスタートしました。教育目標であり、志をもって学び、豊かな心を持ち、たくましく生きる生徒の育成」を達成するために学校、家庭、地域が連携、共働して未来の福津を支える人材を育てようとしてコミュニティ・スクールの推進をしています。

体験を重視、地域色の豊かな文化祭

本年度は実際に体験することや、地域の皆さんと触れ合うことを重視し、これまでの文化祭に加え、次のような取り組みを行いました。

文化週間
ヒップホップダンス体験

地元を中心に活躍するヒップホップダンスグループの皆さんの指導で、全校生徒でダンスを楽しみました。また、文化祭のオープニングの生徒会のダンス指導にも協力してもらいました。



▲全校生徒でヒップホップダンス

城東高校吹奏楽部が演奏

城東高校吹奏楽部の演奏を鑑賞しました。また、本校吹奏楽部との合同演奏や生徒全員での合唱などを体験しました。



▲城東高校吹奏楽部の皆さんの演奏

文化祭
合唱コンクール

文化祭に新たに合唱コンクールを加え、地域の皆さんの協力によるバザー出店と体験活動ブースを開設しました。

地域の皆さんによるバザー

従来の保護者の出店に加え、郷づくりの皆さん、あんずの里の皆さん、水産高校の皆さんに出店してもらいました。また、地域のかたによる手作り小物、陶器販売などの出店も実現しました。

学校、保護者、地域の共働による文化祭は、今まで以上に地域色豊かなものとなりました。



▲合唱コンクールでの学年合唱